

## リスクリテラシーと安全文化の視点

NST教育の中に、「安全文化」の視点を導入・強調することで、リスク評価の必要性に対する理解とリスクリテラシーの一層の浸透・定着をねらう

**リスクリテラシー**  
リスクを認知し、それが便益に対する許容可能な大きさが評価できる力

**安全文化**  
継続的にリスクを小さくしようとする姿勢・態度\*

\*ここでは「安全文化づくり」（原子力安全システム研究所 社会システム研究部編）を参照し、NST教育に適用させていただきます

## 試み事例 2 - 「放射線」/大学生向け

**従来の内容 (サイエンス的内容が主)**

- ✓用語解説
- ✓身の回りの放射線
- ✓放射線の種類・性質
- ✓放射線利用例
- ✓人体への影響、防護の原則

**WOWフクター**

- ✓簡易放射線測定器
- ✓露箱の作成・観察

**試みポイント**

便益とリスクのバランス

- ✓サイエンス的事実を踏まえてリスクを評価し、それが「暮らし」に便益に与える影響を評価できるかどうかを、視点を改めて考える。
- ✓現状からさらにリスクを下げる、相対便益を大きくするなどの、負担(費用・労力等)対効果も高めて考える。

**視野に入れるリスク**

- 自然由来 (自然放射線、地殻由来放射線)
- 人工由来 (医療放射線、核実験由来放射線)
- 利用 (主に電磁波によるもの)

実施日：2020年6月29-30日  
 実施者：高木 (ECP)、飯本 (東大)

日本保健物理学会の第53回研究発表会 (Web開催) で「原子力科学技術教育の実践に基づくリスクリテラシー醸成モデルの開発」と題された高木理事らによる研究発表が「優秀発表賞 (一般)」に選考され、表彰されました。

日本保健物理学会第53回研究発表会WEB開催大会HP <http://www.jhps.or.jp/jhps53-webmtg/>

◀受賞▶  
 優秀発表賞 (一般)  
 原子力科学技術教育の実践に基づくリスクリテラシー醸成モデルの開発  
 ○高木利恵子、飯本武志



東京都 第9回 健康安全研究センター環境保健衛生シンポジウム

# 私たちと放射線

放射線の基礎 健康影響 防護 などに関する 講義動画を配信しています。

動画はこちらからご覧ください。  
<http://monitoring.tokyo-eiken.go.jp/etc/eventinfo.html>

※ご視聴に係る通信費は視聴者様のご負担となります

視聴無料

**内容**

- 放射線の基礎 講師 東京都健康安全研究センター 職員
- 放射線による健康影響 講師 公益財団法人環境科学技術研究所 理事長 島田義也 氏
- 放射線防護の考え方 講師 東京大学環境安全本部 教授 飯本武志 氏
- 放射線に関する東京都の取組 講師 東京都 健康安全研究センター 職員

問合せ先 東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課 環境情報担当  
 電話03-3363-3487 (平日9:00-17:00)

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

リサイクル推進マーク

実施日：2020年12月18日  
 実施者：飯本 (東大)

東京都健康安が主催する第9回環境保健衛生シンポジウム「私たちと放射線 (オンライン開催)」につき、企画及び講演の協力をした。

講演3「放射線防護の考え方」  
 講師：東京大学環境安全本部 教授 飯本武志